

E-Ld療法【1コース目】

【血液内科】115【多発性骨髄腫】
(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 4週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	22	~28
施行日	/	/	/	/	/
エムプリシティ	↓	↓	↓	↓	
デキサート	↓	↓	↓	↓	
レナデックス(経口)	↓	↓	↓	↓	
レブラミド	経口: Day1-21				休薬

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	投与時間	
※①	10時	生食 250mL 20mL/hr(終了時残破棄)
※①	10時	同時に 側管より デキサート注6.6mg 1V 生食 50mL 15分
②	10時15分	ポララミン注5mg 1A ガスター注20mg 1A 生食 50mL 15分
③	11時	●エムプリシティ【 】mg 注射用水 生食 150mL (エムプリシティ:500mg未満) 生食 250mL (エムプリシティ:500~900mg) 生食 350mL (エムプリシティ:900mg超) 投与速度は「■注意事項」参照 ※エムプリシティ300mgは注射用水13mLで溶解 ※エムプリシティ400mgは注射用水17mLで溶解 (溶解後濃度: 25mg/mL)

■投与量

※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
エムプリシティ	10mg/kg	mg/Body
デキサート	mg/m ²	6.6mg/Body
レナデックス(経口)	mg/m ²	28mg/Body
レブラミド(経口)	mg/m ²	25mg/Body

※エムプリシティ投与の3~24時間前に服用

※Day1~Day21服用(7日間休薬)

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- エムプリシティ投与時は輸液ポンプを使用すること。
- エムプリシティ投与中または投与開始後24時間以内に infusion reactionが起こる場合があるので注意すること。

○エムプリシティの投与速度

Day1 : 30mL/hr 30分 ⇒ 60mL/hr 30分 ⇒ 残り 120mL/hr
 Day8 : 180mL/hr 30分 ⇒ 残り 240mL/hr
 Day15及びDay22 : 300mL/hr

入力 薬剤師	看護師	看護師